

平成23年度 第2回常任理事会議事録

日 時 平成23年9月24日（土） 14時～17時
場 所 静岡県教育会館 地下1階会議室
出席者 高木会長・落合理事長他32名

会長あいさつ

高木会長より、先日台風15号があり、お忙しい中参集していただいたことへの感謝と、本日は6つ議題があり、スムーズな議事進行をお願いする旨の挨拶があった。

議事

1. 23年度表彰者の選出について

（1）日連地方功労者

各団体より推薦のあった市川雅子（静岡市協会）、坪井正信（富士宮協会）、天野一（焼津協会）の3名と常任理事会開催前に開催した総務委員会による推薦の野田英明（県高体連）の計4名の推薦があり、種々意見が出た中で市川雅子、天野一の2名を日本連盟に推薦することに決定した。

（2）日連優良団体

富士宮ソフトテニススポーツ少年団、曳馬中学校庭友会、静岡大学ソフトテニス部の3団体の推薦があり、曳馬中学校庭友会については日連の会員ではないため候補から除外し、挙手により富士宮ソフトテニススポーツ少年団を日本連盟に推薦することに決定した。

（3）県連功労者

各団体より小林正、川島俊昭、石黒庄司（以上静岡市協会）、高橋則男（浜松市協会）、岩田隆（三島協会）、岡容子、吉村貞幸（以上沼津協会）、門田辰馬（島田協会）、杉山登子（静岡レディース連盟）、山本敏子（富士宮協会）の10名の推薦があり、今回は「各協会1名」・「数年後の日連功労者候補を除く」・「高年齢」の3項目を基本に選考し、石黒庄司、岩田隆、岡容子、門田辰馬、山本敏子の5名に決定した。

（4）県連優良団体

各団体より推薦のあった菰山ジュニアテニスクラブ、藤園ソフトテニススポーツ少年団（以上県小学生部会）、浜岡ソフトテニスクラブ（掛川小笠協会）、原ジュニアソフトテニスクラブ（沼津協会）、梅STC（静岡市協会）の5団体の推薦があり、梅STCは会員登録がされていないため辞退、原ジュニアソフトテニスクラブは創立が他に比較し新しいために今回は控えた。これにより菰山ジュニアテニスクラブ、浜岡ソフトテニスクラブ、藤園ソフトテニススポーツ少年団の3団

体に決定した。

今後小学生の団体推薦は、県小学生部会で推薦計画を立て推薦することにする。

2. 財政健全化対策について

- ・「財政健全化対策（案）」（別紙資料）を基に説明。
- ・一般会員の県連会員登録金の一部を各協会へ還元希望の意見に対して、各協会の意見を確認し、挙手により、各協会への還元は不要との意見が多数で決定した。
- ・高校生会員は高校生委員会で検討中である。
- ・静岡県会員登録制度の規約を作成する。
- ・本案を常任理事会案とし、理事会で最終審議を諮る。

3. 県連主催大会の見直しについて

「県民スポーツレクリエーション祭大会」・「県ＢＣ級選手権大会」・「安心堂シニア大会」・「近県成年・シニア静岡大会」は参加者が年々減少している。また全国スポーツレクリエーション祭大会が来年からの実施を取止めた。安心堂シニア大会も安心堂より今年限りで協賛を止め、冠を外すよう希望があった。このような愛好者大会は各地区で多く実施されており、参加者を奪い合うようになっている。以上のことから「県民スポーツレクリエーション祭大会」・「県ＢＣ級選手権大会」・「安心堂シニア大会」は来年から取止める。「近県成年・シニア静岡大会」は県シニア会が開催している県シニア大会と合わせて実施することとし、県シニア会に主催を移管する。県連の主催する大会は選手権大会と上部大会の予選等とする。

4. 中学校顧問および外部指導員（ベンチコーチ）の審判員資格について

- ・県連が主催する大会でベンチコーチに入る外部指導員は２級審判員資格者以上とする。止むを得ず資格を取れない顧問（ソフトテニス専門でない顧問）については、ジュニア審判講習会を受講することとする。受講料は５００円とし、ハンドブック（１，０００円）を購入する。受講者には受講修了証を発行する。

5. 各団体からの意見、要望事項

- ・県中学選手権大会の各支部参加数について（中学生委員会より）

静岡市協会は清水支部、静岡支部を合わせた会員登録数に比例した数に変更する。清水支部、静岡支部は別々に予選を行う場合は配分の参加数を案分する。具体的な支部毎の参加数は別紙資料「昭和２４年度静岡県中学生選手権大会出場ペア数算出根拠（各協会ごと案）」のとおりとする。（会員登録数算出の基準日は１２月３１日現在とする）

以上